



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3036 URL http://www.alconix.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹井 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画 (氏名) 手代木 洋 TEL 03-3596-7400
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	48,095	△20.1	1,157	△6.0	1,243	△19.6	555	△38.4
2020年3月期第1四半期	60,181	△9.7	1,232	△38.9	1,547	△25.3	901	△44.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 618百万円 (△38.0%) 2020年3月期第1四半期 998百万円 (38.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	21.82	—
2020年3月期第1四半期	35.67	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	132,890	40,974	30.2
2020年3月期	134,463	41,277	30.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 40,181百万円 2020年3月期 40,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	90,500	△23.6	1,110	△58.9	1,190	△59.9	550	△71.2	21.72
通期	210,000	△9.6	3,900	△24.7	4,000	△26.2	2,400	△33.7	94.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2021年3月期の連結業績予想については〔添付資料〕4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、[添付資料] 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	25,915,700株	2020年3月期	25,915,700株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	599,109株	2020年3月期	272,071株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	25,453,057株	2020年3月期1Q	25,277,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各地でのロックダウンによる経済活動停止等の影響もあり景気は大きく悪化いたしました。このため米国においては感染対策に伴う雇用減少により個人消費が後退し、欧州においては内需が大きく落ち込み、中国においても成長が鈍化いたしました。

我が国の経済は緊急事態宣言の発令に伴う外出自粛要請の影響から、個人消費の低迷、企業収益の悪化等、経済活動は大きく混乱いたしました。

当社グループを取巻く業界は、自動車関連においては電装化、軽量化、自動運転技術といった需要の多角化が引続き進行しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から国内外の自動車需要が急減し、サプライチェーンが大きく混乱したことにより生産及び販売が低迷いたしました。一方、半導体・電子部品関連では、IoT、AI等におけるデータ通信量の増加や自動車の電装化進行、次世代通信規格（5G）の本格稼働により市場が拡大し、またオンラインでの経済活動の広がりやリモートワークの浸透を背景にIT機器、半導体関連部材の需要が伸びてまいりました。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、半導体、情報通信関連向け需要の増加により半導体実装装置、半導体製造装置向け金属加工部品の出荷が堅調に推移した他、商社流通においてもスマートフォン等IT機器向け電子・電池材料の取扱いが前年同期に比べ増加いたしました。しかしながら国内外の自動車向け需要の低迷により、金属精密プレス部品、小型モーター向けカーボンブラシ等の製品出荷、及び商社流通における非鉄原料、アルミ圧延品等の取扱いが前年同期に比べ減少いたしました。なお、利益面においては前年同期に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されたこと等により電子機能材における利益は改善いたしました。また、上記の減収要因により営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高48,095百万円（前年同期比20.1%減少）、営業利益1,157百万円（同6.0%減少）、経常利益1,243百万円（同19.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益555百万円（同38.4%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

・ 商社流通－電子機能材事業

スマートフォン・タブレット端末向け部材は、新型コロナウイルス感染症の影響による中国市場を中心とする在庫調整から、前年同期に比べ売上、利益は共に横ばいに留まりました。また、二次電池関連部材並びに環境関連部材の需要は、新型コロナウイルス感染症の影響のため当第1四半期連結累計期間の中頃まで低迷が継続したものの、その後は中国市場を中心に急速に回復した結果、売上、利益は共に増加となり、チタン・ニッケル製品の欧州向け輸出取引も底堅く推移いたしました。一方、レアメタル・レアアースについては磁性材向けレアアースの取引が増加いたしました。また、タングステン等のレアメタルは自動車関連需要の低迷により前年同期に比べ減少いたしました。なお、前年同期に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されたこと等により、セグメント利益は大きく改善いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は14,754百万円（前年同期比22.1%減少）、セグメント利益は314百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

・ 商社流通－アルミ銅事業

製品分野においては、自動車の電装化・軽量化に伴う非鉄需要のトレンド自体に大きな変化は無いものの、新型コロナウイルス感染症の影響により世界的に自動車生産及び販売台数が減少したため、自動車関連部材は売上、利益共に前年同期に比べ大幅に落ち込みました。一方、巣ごもり消費の増加に伴うアルミ飲料缶材料や、リモートワークの拡大に対応したパソコン、タブレット等IT機器に使用される半導体関連部材が堅調に推移いたしました。また、原料分野においては、当第1四半期連結累計期間において、アルミ・銅等の商品相場は大幅下落から反転上昇いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に自動車関連における取引先の販売及び生産活動の調整による需要減のため、主力のアルミスクラップ、アルミ再生塊などの売上が大幅に減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は23,184百万円（同26.9%減少）、セグメント利益は186百万円（同39.1%減少）となりました。

・製造－装置材料事業

めっき材料は米国拠点において半導体、電子部品向け需要が増加したものの、中国拠点で新型コロナウイルス感染症による需要減少と稼働日数の短縮が影響し出荷は前年同期に比べ微減となりました。また、非破壊検査及びマーキングはプラント、エネルギー関連向けで大型非破壊検査装置の出荷が増加し売上に貢献いたしました。一方、ブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品、小型モーター向けカーボンブラシ、及び溶接材料の出荷は国内外における自動車需要の低迷により前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は5,980百万円（同1.5%減少）、セグメント損失は7百万円（前年同期は25百万円のセグメント利益）となりました。

・製造－金属加工事業

半導体実装装置向け精密研削加工部品は実装装置需要が前連結会計年度から引続き堅調に推移しており、出荷は前年同期に比べ増加いたしました。また精密切削加工部品においても次世代通信規格（5G）の本格化やリモートワークの拡大に伴う情報通信や半導体需要の増加等により、半導体製造装置向け切削加工部品の出荷が前年同期に比べ増加いたしました。しかしながら金属精密プレス部品は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外の自動車需要の低迷を受けて主要取引先向け出荷が大きく落ち込み、メキシコ事業においても現地における自動車需要低迷と事業立上げフェーズに伴う支出が先行したため収益を圧迫いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は5,054百万円（同4.2%減少）、セグメント利益は751百万円（同38.2%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

a. 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は93,543百万円であり、前連結会計年度末比1,883百万円の減少となりました。主な内訳は受取手形及び売掛金の減少4,865百万円、たな卸資産の減少922百万円、並びに現金及び預金の増加4,126百万円であります。

b. 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は39,346百万円であり、前連結会計年度末比310百万円の増加となりました。主な内訳は、有形固定資産、及びのれんを含む無形固定資産の償却による減少352百万円、及び投資その他の資産の増加662百万円であります。

c. 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は64,671百万円であり、前連結会計年度末比862百万円の減少となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金の減少3,880百万円、短期借入金の増加1,800百万円、及び1年内返済予定長期借入金の増加340百万円であります。

d. 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は27,244百万円であり、前連結会計年度末比408百万円の減少となりました。主な内訳は役員退職慰労引当金の減少388百万円、長期未払金の減少163百万円及び社債の減少74百万円であります。

e. 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は40,974百万円であり、前連結会計年度末比302百万円の減少となりました。主な内訳はその他有価証券評価差額金の増加537百万円、為替換算調整勘定の減少379百万円、自己株式取得371百万円及び繰延ヘッジ損益の減少103百万円であります。

②経営成績

a. 売上高

売上高はグループ全体で減収となりました。取扱品並びに製品別で見ると、商社流通では、スマートフォン・タブレット端末向け電池・電子材料、磁性材向けレアアースの取扱いが前年同期に比べて増加いたしました。また、アルミ圧延品、伸銅品、電池用鉛地金、アルミ再生塊、銅スクラップ等の非鉄原料の取扱いは減少いたしました。

製造では半導体実装装置向け研削加工部品、通信、半導体製造装置向け精密切削加工部品、及び非破壊検査・マーキング関連で装置の出荷が前年同期に比べ増加いたしました。一方、金属精密プレス部品、小型モーター向けカーボンブラシ、カシュー樹脂製品、及び溶接材料の出荷は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比20.1%減少の48,095百万円となりました。

b. 売上総利益

減収に伴う減益を余儀なくされたものの、前年度に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されたこと等から、当第1四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比7.1%減少にとどまり、4,243百万円となりました。

c. 販売費及び一般管理費

新型コロナウイルス感染症の影響で主に旅費交通費等の費消が削減され、連結子会社におけるコスト低減効果等により、当第1四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比7.5%減少の3,085百万円となりました。

d. 営業利益

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比6.0%減少の1,157百万円となりました。

e. 営業外収益、営業外費用

受取配当金、及び持分法による投資利益の減少等により、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は85百万円の収入超にとどまりました（前年同期は314百万円の収入超）。

f. 経常利益

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比19.6%減少の1,243百万円となりました。

g. 特別利益、特別損失

助成金収入等の特別利益12百万円を計上する一方、投資有価証券評価損等の特別損失45百万円を計上いたしました。

h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益1,210百万円から、法人税等637百万円、連結子会社9社における非支配株主に帰属する四半期純利益18百万円を差引き、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比38.4%減少の555百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2020年5月26日の「2020年3月期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,754	26,880
受取手形及び売掛金	44,162	39,296
商品及び製品	20,810	19,796
仕掛品	3,353	3,405
原材料及び貯蔵品	1,936	1,975
その他	3,031	2,802
貸倒引当金	△622	△614
流動資産合計	95,426	93,543
固定資産		
有形固定資産	20,905	20,615
無形固定資産		
のれん	3,120	3,060
その他	3,576	3,574
無形固定資産合計	6,697	6,634
投資その他の資産	11,433	12,096
固定資産合計	39,036	39,346
資産合計	134,463	132,890
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,920	27,040
短期借入金	24,782	26,582
1年内返済予定の長期借入金	4,027	4,368
1年内償還予定の社債	149	149
未払法人税等	1,056	634
賞与引当金	968	1,033
その他	3,627	4,861
流動負債合計	65,533	64,671
固定負債		
社債	375	300
長期借入金	22,313	22,407
役員退職慰労引当金	780	392
退職給付に係る負債	821	838
長期未払金	338	174
その他	3,023	3,130
固定負債合計	27,652	27,244
負債合計	93,185	91,915

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,989	2,989
資本剰余金	2,401	2,401
利益剰余金	33,258	33,275
自己株式	△329	△701
株主資本合計	38,320	37,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191	729
繰延ヘッジ損益	103	0
為替換算調整勘定	1,865	1,486
その他の包括利益累計額合計	2,161	2,216
新株予約権	34	41
非支配株主持分	761	751
純資産合計	41,277	40,974
負債純資産合計	134,463	132,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	60,181	48,095
売上原価	55,613	43,852
売上総利益	4,568	4,243
販売費及び一般管理費	3,336	3,085
営業利益	1,232	1,157
営業外収益		
受取利息	42	16
仕入割引	4	3
受取配当金	235	181
為替差益	17	—
不動産賃貸収入	20	19
持分法による投資利益	62	8
屑売却益	60	6
その他	115	75
営業外収益合計	559	312
営業外費用		
支払利息	181	131
売上割引	2	0
為替差損	—	50
手形売却損	6	4
不動産賃貸原価	4	4
その他	50	35
営業外費用合計	244	227
経常利益	1,547	1,243
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	—	0
投資有価証券売却益	0	—
助成金収入	3	12
補助金収入	8	—
特別利益合計	11	12
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	3	0
投資有価証券評価損	—	44
その他	—	0
特別損失合計	3	45
税金等調整前四半期純利益	1,555	1,210
法人税等	633	637
四半期純利益	922	573
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	901	555

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	922	573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	522
繰延ヘッジ損益	16	△104
為替換算調整勘定	156	△369
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△3
その他の包括利益合計	76	45
四半期包括利益	998	618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	981	610
非支配株主に係る四半期包括利益	17	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の当社グループに与える影響等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	18,247	30,651	6,050	5,232	60,181
セグメント間の内部売上高又は振替高	681	1,044	23	44	1,793
計	18,929	31,696	6,073	5,276	61,975
セグメント利益又は損失(△)	△14	306	25	1,214	1,532

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,532
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の経常利益	1,547

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	14,163	22,986	5,927	5,017	48,095
セグメント間の内部売上高又は振替高	590	197	52	37	877
計	14,754	23,184	5,980	5,054	48,973
セグメント利益又は損失(△)	314	186	△7	751	1,245

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,245
セグメント間取引消去	△2
四半期連結損益計算書の経常利益	1,243